

【支部だより】

平成 20 年度 学友会大阪支部総会報告

高田 春彦(短 8 回生)

平成 20 年 7 月 5 日、今年も学友会大阪支部総会が大阪梅田の島津製作所関西支社で行われました。学術講演は、日本メドトロニックの鈴木氏による「薬物塗布ステントについて」、横河電機の渡辺氏による「最近の放射線システムの動向」、島津製作所の田中氏による「FPD 最新アプリケーション」の 3 演題でした。

「薬物塗布ステントについて」は、ステントを用いて冠状動脈の狭窄部位を治療する際に問題となる再狭窄を予防するために、ステントに薬剤を塗って血管内膜が増殖するのを防止するというお話でしたが、これまでに使用されていた薬物塗布ステントとは少し違ったタイプのもので興味深い内容でした。

「最近の放射線システムの動向」はデジタル化とフィルムレスが進んでいる現在の放射線画像ネットワークで、異なるメーカーや通信方法であっても構築できるネットワークシステムのお話でした。もういくつかの施設で始まっているフィルムレス&モニタ診断のお話は私の勤務先でも始まる予定なのでとても身近でした。

最後の講演「FPD 最新アプリケーション」は長年にわたって研究開発してきたフラットパネルのお話でした。以前にもフラットパネルの事は大阪支部総会でもお話いただきましたが、今回は断層の考え方を応用した新たな撮影アプリケーションのお話でした。マルチスライス CT の普及によって廃れてきている「断層」の考え方をもう一度デジタルの世界で見直して考えておられるその斬新さに驚きました。



講演の後には大阪支部総会。橋 支部長(52 回)と埜藤学友会長(43 回)の挨拶に引き続いて、廣瀬事務局長より母校の近況報告がありました。4 年制大学としてスタートした京都医療科学大学の入試状況などの報告でしたが、やはり開学 2 年目に入学志願者数が減少してしまうのは 4 年制大学にはよくある事らしいです。支部活動報告、会計報告、会計監査報告の議事が終了した後、記念撮影を行い懇親会場へ移動。ビルの 17 階にあるレストランでビュッフェ形式の懇親会です。

山口副支部長(52 回)による開会の挨拶、来賓の各支部長による挨拶の後、佐野氏(36 回)による乾杯で懇親会が始まりました。教員生活 50 年に幕を下ろされた山田名誉教授(31 回)ともお会いでき、在学時代の思い出話や近況報告などいろいろお話が出来ました。

宴の最後は恒例の校歌斉唱です。今年も後藤氏(34 回)が音頭を取り元気に専門学校校歌を歌われていました。林氏(41 回)の万歳三唱と今井氏(56 回)の閉会の挨拶で懇親会は終了し、余韻を残しつつ 2 次会へと移るのであります。

どうやら大阪支部総会は若者の参加が多いらしく、他の支部長さんから羨ましいとの声がありました。若手を支部の幹事に起用すると、支部総会に若者の参加者も増えるのではないかと個人的に思うのです。最後に、講演していただきました先生方、総会を開催するにあたってご尽力いただきました島津製作所をはじめとする協賛各社の皆様にお礼申し上げます。

以上